

ESD

えひめの環境学習

～愛媛県ESD環境学習プログラム集～

循環型
社会

低炭素
社会

自然共生
社会



はじめに

今、わたしたちは、地球温暖化の進行や多発する異常気象、資源の枯渇、生物多様性の危機など多くの問題に直面しています。

愛媛県は、四季折々に美しい姿を見せる海や山、川などの豊かな自然に恵まれています。こうした環境は、県民のみなさんのかけがえのない財産であり、この財産を次の世代に引き継いでいくことが、わたしたちの責務です。

愛媛県は、第二次えひめ環境基本計画において、目指すべき将来像に「つなごう未来へ『愛顔^{えがお}あふれる持続可能なえひめ』」を掲げています。「持続可能な社会」を築いていくためには、ひとりひとりが、自らの生活と様々な問題とのつながりを知り、環境保全のために積極的に取り組んでいく必要があります。

そこで、この「愛媛県ESD環境学習プログラム集」を作成しました。

○ESDとは？

ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) は、持続可能な社会の担い手を育てるための教育のこと。

地球上の様々な問題を解決するために、自ら考え、判断し、他者と力を合わせながら行動していく力を身につけるための学習です。

○このプログラム集の意義

このプログラム集は、持続可能なえひめの実現に向けて、県民のみなさんに、ESDの視点を取り入れた環境学習を広めるために作成しました。

愛媛大学の先生のご協力で作成した「モデルプログラム」と、愛媛県で環境学習の取組みをされている方々からご提供いただいた「事例プログラム」を、一部編集して掲載しています。

これらのプログラムをもとに、それぞれの地域や参加者に合わせたプログラムが作られ、環境学習が身近なものとして広がっていくことを期待しています。

終わりに、このプログラム集の作成にあたりご協力をいただいた皆様に、心から御礼申し上げます。









平成30年2月 愛媛県県民環境部環境局環境政策課

えひめのESD環境学習












～愛媛県ESD環境学習プログラム集～

アイコンの表すもの …………… 3

モデルプログラム

- 1 愛媛の森でMy竹取物語    …………… 6
- 2 Myミニ太陽光発電所をつくる!  …………… 7
- 3 フェアトレード・コーヒーを買って
世界の環境を守ろう!  …………… 8
- 4 フェアトレード・チョコを買って
世界の環境を守ろう!  …………… 9
- 5 森の中で時間泥棒から
時を取り戻そう!  …………… 10
- 6 目を閉じて、自然環境の
新たな魅力を発見?!  …………… 11

事例プログラム

- 1 美しい海を次世代に引き継ぐ為に   …… 14
- 2 海浜の漂着ゴミから、
生活ゴミを考えよう   …………… 15
- 3 ペットボトルでつくる
ビーズアクセサリー  …………… 16
- 4 偏光板でつくる万華鏡  …………… 17
- 5 一人ひとりのエコが地球の未来を救う
(エネルギーと品物の一生を考えた
商品の選び方・使い方・捨て方)   …… 18
- 6 地球にやさしい
エネルギーってなんだ?  …………… 19
- 7 地球温暖化防止のための省エネ
～異常気象から自分たちを守ろう～  …… 20
- 8 家庭からの温室効果ガス排出量を
削減しよう  …………… 21

- 9 愛媛の森林から未来のエネルギーを考える
～ミニ・ロケットストーブを
作ってみよう～   …………… 22
- 10 はだか麦を食べながら
フード・マイレージを考えよう!   …… 23
- 11 愛媛県と太陽光発電
～太陽光発電の実験～   …………… 24
- 12 愛媛ブランドミカンの
生産を守ろう!   …………… 25
- 13 早春におたまじゃくしを観察しよう  …… 26
- 14 セミの抜け殻調べ隊  …………… 27
- 15 身近な場所のバードウォッチング  …… 28
- 16 賢水君の冒険の旅!  …………… 29
- 17 ホタルが飛び交う浮穴小を夢見て  …… 30
- 18 巨木と呼ばれる樹木と私たちとの関わりあい
～愛媛という地域性と
これからの樹木のすがた～   …… 31
- 19 水になって旅してみよう～  …………… 32
- 20 しいたけの秘密を探ろう(No.1)
～しいたけとは～  …………… 35
- 21 しいたけの秘密を探ろう(No.2)
～森としいたけ～  …………… 36
- 22 カシワでないけどかしわもち  …………… 37
- その他のプログラム …………… 38

参考のページ

- 環境活動を応援します! …………… 40
- 冊子紹介 …………… 42

アイコンの表すもの

循環型社会の実現 1

美しい海を次世代に引き継ぐ為に

作成者: 特定非営利活動法人 日本渚の美術協会

対象者: 幼児 小学生 中学生 高校生 一般

所要時間: 6時間

ESDの要素: 環境教育 社会教育 国際教育 能力・態度 知識 技能 価値観 倫理 責任 持続可能性

プログラムの概要 海岸の清掃活動と同時に、集めたゴミの中から材料を収集して作品を制作し、海の環境保全意識を高め、美しい海を次世代に残すための持続可能な方策を考える。

プログラムの目標 ①ゴミをポイ捨てしない仲間を増やす。
②海に対する優しい思いやりの心を育む。

プログラムの内容

- 1 海洋環境の現状を知る (30分)**
 - DVDや写真を使って、海の現状や問題となっていることなどを説明する。
- 2 海岸美化清掃活動と材料収集 (60分)**
 - 漂着ゴミなどを清掃しながら、同時に工作の材料を収集する。
- 3 分別と洗浄 (30分)**
 - 収集したゴミと工作の材料を分別し、使用する物は洗浄する。
 - 班を編成して作業。各班にインストラクターを配置して、分別の判断等をアドバイスする。
- 4 漂着物を使った工作 (120分)**
 - テーマ:「私たちの地球の仲間を作ろう」
 - 作品見本を見せながら、地球に住む身近な動物をイメージして制作する。
- 5 展示会開催 (30分)**
 - 展示場所を作り、全作品を展示して展示会を開催する。
- 6 総評と振り返り (30分)**
 - 作品の総評と一日の活動の振り返りを行う。
 - 参加者全員で「ゴミをポイ捨てしない仲間宣言」を行う。

実施・指導時のポイント 参加者やできた作品の数だけ海がきれいになるという実感を持たせる。

補足情報: プログラムの実施依頼・問い合わせ ▶ TEL: 03-5298-7339 メール: honma@npo-nagisa.com
HP: <http://www.npo-nagisa.com/> • このプログラムを実践したい方に対してのレクチャーも可能

14

愛媛県では、「^{えがお}愛顔あふれる持続可能なえひめ」を実現するため、3つの基本目標を設定しています。

- Ⅰ. かけがえのない環境の保全
 - Ⅱ. 目指すべき3つの社会の実現
 - Ⅲ. 未来を支える人づくり・しくみづくり
- 本書では、各プログラムを、Ⅱの「目指すべき3つの社会」のうち関連が強いものごとに分類しています。

循環型社会



低炭素社会

自然共生社会

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された、先進国を含む国際社会全体の開発目標です。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境の課題に統合的に対応しようとするもので、17の目標と169のターゲットが設定されています。17の目標のうち、プログラムと関連が強いものを示しています。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースHIPで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です		

ESDの要素(持続可能な社会の構成概念)

ESDでは、単に知識を習得したり、活動に取り組むだけではなく、持続可能な社会の実現に向けて、様々な課題の構造や課題解決に向けた行動が備えるべき要素を考えることが重要です。

このプログラムを通して考えてほしい概念の例を、アイコンで示しています。

課題の構造に関する概念



多様性

多様性

社会は多様な事物から成り立っていること



相互性

相互性

社会は物や人が関わりあって成り立っていること



有限性

有限性

社会を成り立たせている資源やエネルギーには限りがあること

課題解決に向けた行動が備えるべき要素に関する概念



公平性

公平性

持続可能な社会は権利の保障や恩恵の享受が公平であること



連携性

連携性

持続可能な社会は、多様な主体が状況に応じて互いに協力することで構築されること



責任性

責任性

持続可能な社会は、一人一人が責任と義務を自覚し、行動することで構築されること

ESDの視点に立った学習で重視する能力・態度

問題の解決に向けて、自ら考え、決定し、行動できるようになるために、必要となる能力や態度があります。

このプログラムを通して身につけてほしい能力・態度の例を、アイコンで示しています。



批判

批判的に考える力

合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて物事の本質を考え、建設的に判断していく力



未来

未来像を予測して計画を立てる力

あるべき未来像を考えて、それを他者と共有しながら、物事を計画する力



多面

多面的、総合的に考える力

物事の関わりや広がりを理解し、それらを多面的、総合的に考える力



伝達

コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重するために、積極的にコミュニケーションを行う能力



協力

他者と協力する態度

他者の立場に立って考えや行動を考え、他者と協力・協同しながら物事を進めようとする態度



関連

つながりを尊重する態度

いろいろな物事と自分とのつながりに関心をもち、それらを大切にしようとする態度



参加

進んで参加する態度

自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、物事に主体的に参加しようとする態度

(参考) 国立教育政策研究所教育課程研究センター「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」